

## 岩戸の生き物

教頭 角 玲子

6月も後半になり、湿度の高い日々が続いています。晴れていても、曇っていても、雨の日も岩戸養護学校は鳥の鳴き声が響き渡っています。

そこで、学校にはどのような鳥がいるのか、職員が目撃情報と鳴き声をもとに調べてみましたのでご紹介します。

まず、よく鳴いているのがウグイスとガビチョウです。ウグイスは緑色と思われがちですが、実際には緑茶色。緑の小鳥はメジロです。ガビチョウはウグイスの鳴き声に少し似ていますが、もう少し大きな声で長く鳴き続ける鳥です。岩戸でもきれいな声で鳴き続けています。



ウグイス



ガビチョウ

よく見かけるのは、スズメ、カラスです。どちらも、全国に分布する鳥ですが、スズメはこのとろ数が減少しているそうです。岩戸ではまだまだたくさんのスズメを見かけます。過ごしやすい木がたくさんあるからでしょうか。



ハシボソガラス



スズメ

セキレイもよく見かける鳥の一つです。1年じゅう見られる鳥で、岩戸でも地面をチョコチョコと歩いている姿をみかけます。一度、黄色いセキレイも見かけたとの目撃情報もありました。



セグロセキレイ

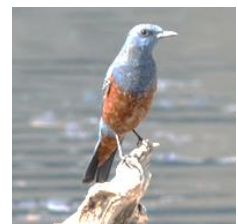


キセキレイ

ヒヨドリもよく見かける鳥の一つです。日本中に生息する鳥で、東京では1970年頃までは、10月に渡来し、4月に渡り去る冬鳥だったそうです。今では1年中見かけるようになりました。海岸に生息することの多い、ヒヨドリに似たイソヒヨドリの目撃情報もありました。シジュウカラの鳴き声もよく耳にします。



ヒヨドリ



イソヒヨドリ

このようにたくさんの鳥に囲まれている岩戸養護学校ですが、実は私は鳥を見つけることが苦手で、スズメ、カラス、セキレイ、ヒヨドリ以外の鳥を見たことがなく、鳴き声の先の姿を探す毎日です。皆さんも岩戸の鳥を探してみたいかがでしょうか。



シジュウカラ